徳島新聞　　令和8年3月7日（土）

健　康

徳大病院　元気を支える　医療

手術前後のケアチームで

栄養指導やリハビリも

田中克哉
周術期管理センター長・教授

ベッドサイドで患者に痛みの具合などを聞く術後疼痛管理チームの医師ら＝徳大病院

手術が決まってから入院し、退院するまでの期間を「周術期」と言います。徳大病院では安全安心な医療を効率的に提供するために、2019年に周術期管理センターを開設しました。主に全身麻酔を受ける患者さんの手術前と術中、術後のケアを多職種のチームで行い、患者さんが安心して手術に臨めるように努めています。

手術で入院する日が近づいてきたら、患者さんに術前外来に来ていただきます。麻酔科医と薬剤師、看護師がこれまでの病気の有無や内服薬、術前に実施した検査結果を確認します。問題がなければ入院時の注意事項とともに、内服薬のうち一定期間停止する必要があるものや麻酔の内容について説明し、手術の同意書を渡します。必要があれば歯科で口腔（こうくう）ケアを行い、歯や口を保護するマウスプロテクターを作成します。

患者さんには手術前日の午前中に麻酔科に来てもらいます。医師が体調を確認した上で、手術に当たり絶飲絶食をすることを説明します。患者支援センターでスタッフが入院前のオリエンテーションを行い、必要書類などを説明した後、病棟に入ってもらいます。

術後は体の状態に応じて栄養指導やリハビリを受けてもらうことがあります。患者さん自身が痛みの程度に応じてボタンを押し、適切な量の鎮痛薬を投与できるPCAポンプを使用している場合は、麻酔科医と薬剤師、看護師からなる術後疼痛（とうつう）管理チームが平日に限り、術後1日目と2日目にベッドサイドに伺います。痛みの具合や困っていることなどを聞き、必要があれば手助けします。

センターでは入院時に必要なものや手続きなどをまとめた冊子を作りました。口腔ケアの重要性や心身の準備など複数の動画も作成し、QRコードを冊子に掲載して閲覧できるようにしています。冊子はセンターで配布しているほか、当院のサイトからも入手できます。ご家族と一緒に冊子と動画を見て、準備を進めていただければと思います。

手術を受けることが決まればいろいろと不安になるでしょうが、心配しないでください。患者さんが万全の状態で安全に手術を受け、無事に退院できるようにするため、センターの職員が一丸となってサポートしていきます。

全身麻酔で手術を受ける患者向けの冊子

徳島新聞令和８年３月７日掲載
コピー、転載禁止